福山大学・福山平成大学合同ＩＲ研修会

報告書

（開催日：令和５年９月15日）

1.　研修会開催概要

2021 年に福山平成大学で「I R 研修会 in 福山平成大学」が開催され、両大学の IR に関する基本的な活動について相互に理解を深めた。その後、福山大学と福山平成大学の IR 活動は更に進展した。そこで、IR に関する活動、手法、学内展開などについて相互に学び合い、今後の活動に取り入れていくことを目的として、福山大学・福山平成大学合同 IR 研修会が企画され、合同 IR 研修は令和 5(2023)年 9 月 15 日(金)に開催された。研修会の方式として、オンライン及び対面のハイブリッド形式で実施され（資料 1 の開催案内参照)、次の参加者があった。

オンライン形式（Zoom 利用）

福山大学教務委員長	満谷　淳　生命工学部教授
福山平成大学大学教育センター長	古賀一博　福祉健康学部教授
福山平成大学大学教育センターIR 部門長	上村　崇　福祉健康学部教授

対面形式（福山大学 19 号館 1 階 19103 室）

福山大学学長補佐（IR 担当）	山本　覚　生命工学部教授
福山大学 IR 室	片桐重和　助教（IR 室専任教員）
福山大学 IR 室長	田中始男　人間文化学部教授
福山大学 IR 室（兼任）	田中征史　経済学部講師
福山大学 IR 室（兼任）	天満誠也　工学部助教
福山大学 IR 室（兼任）	木平孝高　薬学部准教授
福山大学 IR 室（兼任）	記谷康之　大学教育センター講師
福山大学 職員	徳永充孝　経理部長

2. 各大学の IR 活動の報告

IR 研修研修会の目的及び開催までの経緯等を踏まえ、山本覚（IR 担当学長補佐、生命工学部教授）より開会挨拶があり、その後、福山大学 IR 室の活動、福山平成大学大学教育センターIR 部門の活動について報告が行われた。

2-1 福山大学 IR 室の活動

片桐重和（福山大学 IR 室助教（専任））と田中始男教授(福山大学人間文化学部、IR 室長)により、福山大学における IR 活動の成果について報告が行われた。

2-1-1 授業に関する経験的認識の可視化を目的とした成績評価の分析

2022 年度に実施された成績評価に基づいた分析及び関連の学内研修会の発表内容を抜粋して活動報告が行われた。「授業に関する経験的認識の可視化」を目的とし、IR 室が行った「遠隔授業と通常の対面授業の評価を比較」「学部・学科間に成績評価基準の高低差」などが報告され、さらに各学科の実施した成績評価に基づく分析・考察・改善に関する報告の一

部が紹介された。主要な図を以下に示す（詳細は資料 2 参照）。

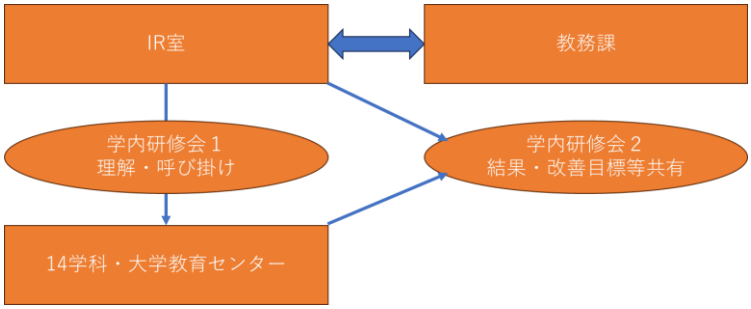


図 1　成績評価に関する研修の組織関連図

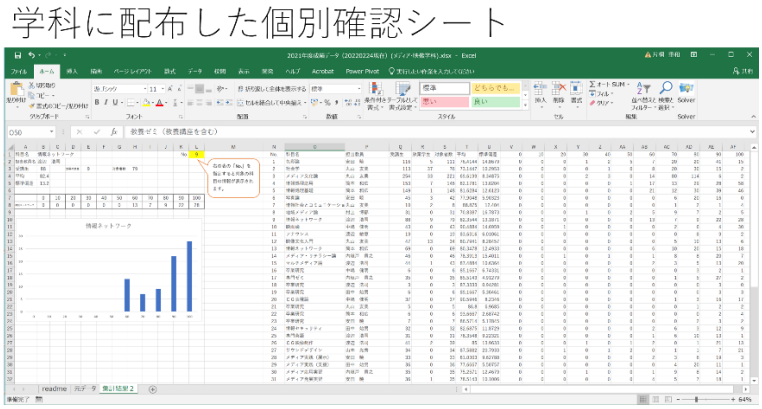
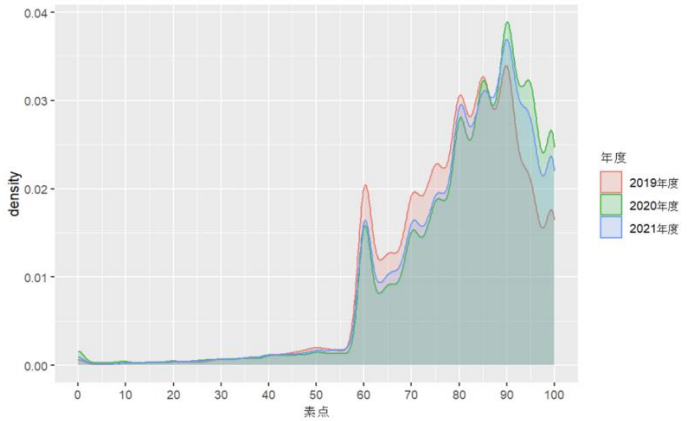


図 2　IR 室から各学科へ配布のデータ及び分析ツール



年度	N（科目数）	平均	標準偏差
2019 年度	67321	79.34	14.47
2020 年度	65717	81.61	15.63
2021 年度	63376	81.01	15.09

図 3 遠隔授業と対面授業の比較（IR 室の分析結果）

2-1-2　アセスメント・ポリシー改善のための分析活動

福山大学においてアセスメント・ポリシーの再検討のために IR 室の行った分析と提案について報告が行われた。アセスメント・ポリシーに関わる項目のうち、学科の中目標達成度に関する各パラメータの影響分析の結果（IR 室での分析）について説明が行われ、分析結

果が大学教育センター部門長等連絡会議及び運営委員会で活用されて改善に生かされた事例が報告された。主要な図を以下に示す。

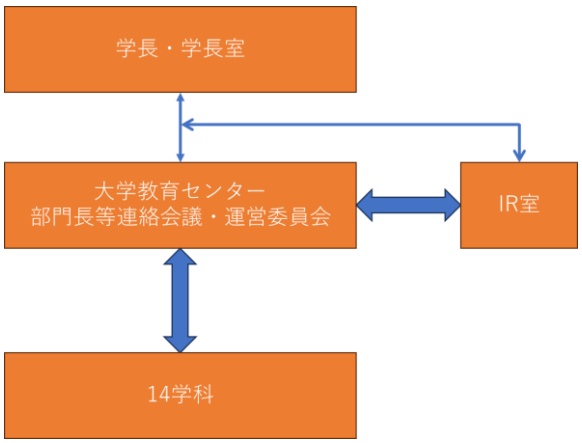


図 4 アセスメントポリシー検討のための組織連携図

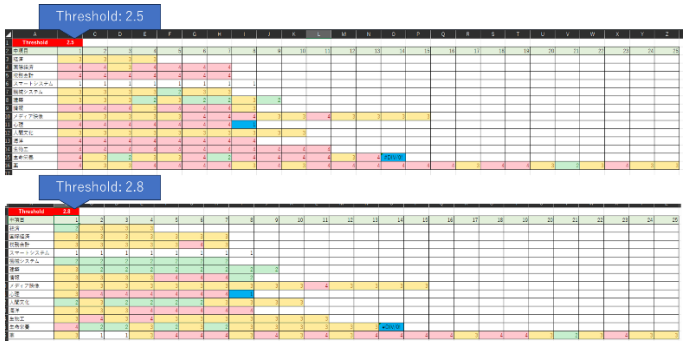


図 5 学科の中項目達成度と判定のための閾値の関係

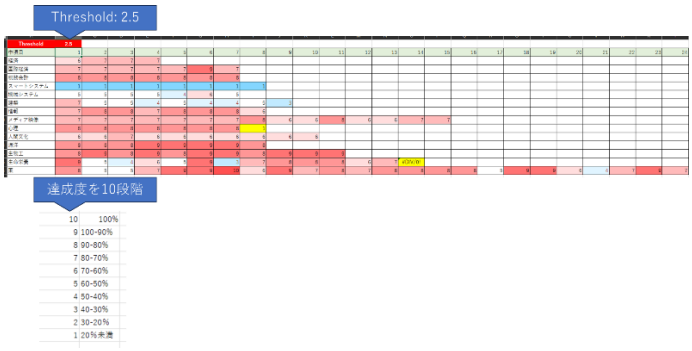


図 6 中項目達成度と区分数の関係

2-2　福山平成大学 IR 室の活動

福山平成大学のアセスメント・ポリシーに関する大学教育センターIR 部門の活動について上村崇（福山平成大学大学教育センターIR 部門長、福祉健康学部教授）より報告が行われた。アセスメント・ポリシーに係る各種指標を学習支援システム「セレッソ」に集約し、全学教員で共有していることが報告された。各種指標の雛形となるシートを IR 部門が作成し、シートへの記入を学科等に依頼、回収の集約作業を IR 部門が行っていることが報告さ

れた。また、集約過程で生じる問題点などが報告された。

３．ディスカッション

記谷 康之（福山大学大学教育センター講師）の司会により、2.で報告された事項について自由に討論が行われた。

ディスカッションの後、古賀一博（福山平成大学大学教育センター長、福祉健康学部教授）による閉会挨拶により福山大学・福山平成大学 IR 研修会を終了した。

資料 1_合同研修会開催案内

大学 IR 活動に関係する皆さま

福山大学　IR 室
室長　田中始男

福山大学・福山平成大学合同ＩR 研修会開催のお知らせ

2021 年に福山平成大学で「IR 研修会 in 福山平成大学」が開催されました。両大学の IR に関する基本的な活動について相互に理解を深めることができました。福山大学では、分析結果を関係する委員会等と共有し、改善に活かしています。福山平成大学も IR 活動が進展していると思われます。このような背景を踏まえ、両大学の IR に関する活動や手法などについて相互に学び合い、今後の活動に取り入れていくことを目的として、下記のように研修会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

日時：2023 年 9 月 15 日（金）13:00～14:00
開催形式：オンライン開催（福山大学及び福山平成大学から参加）
　　※対面形式で参加可能な教室（福山大学 19103 室(19 号館 1 階)）。
参加対象：IR に係る福山大学及び福山平成大学の教職員
プログラム
１．開会挨拶：
　山本　覚（福山大学　学長補佐(IR 担当)）13:00
２．話題提供：
　2-1 福山大学における IR 活動の成果について　　13:00～13:15(15 分)
　講師： 片桐重和（福山大学 IR 室 助教(専任)）、田中始男（福山大学 IR 室長）
　・成績評価に関する分析
　　-全学レベルの分析から学科レベルの分析・改善活動への展開-
　・アセスメント・ポリシー改善のための分析活動
　　-大学教育センターとの共同作業-
　2-2 福山平成大学における IR 活動の成果について　13:15-13:30(15 分)
　講師：上村　崇（福山平成大学）
　・アセスメント・ポリシーの分析と活用
３．ディスカッション　13:30-14:00(30 分)
　進行：記谷 康之（福山大学教育センター講師）
　・提供された話題に基づいて討論
３．閉会挨拶：
　古賀　一博（福山平成大学　大学教育センター長）

以上

資料２

福山大学・福山平成大学
合同IR研修会

福山大学　IR室

役職名	氏　　名	学内指定職
IR担当学長補佐	山本　覚	教授
室長	田中　始男	教授
副室長	金子　邦彦	教授
副室長	大高　弘士	事務局長
教員	田中　征史	講師
教員	天満　誠也	助教
教員	木平　孝高	准教授
教員	記谷　康之	講師
教員	片桐　重和	助教（専任）

福山大学におけるIR活動

- 成績評価に関する分析（2022年度）

- アセスメント・ポリシー改善のための分析活動（2023年度）
  - 大学教育センターとの連携
- GPAとf-GPAの比較（2023年度）
  - 教務委員会との連携
- 学修成果と入試区分等の関連（2023年度）

福山大学におけるIR活動の成果
の紹介

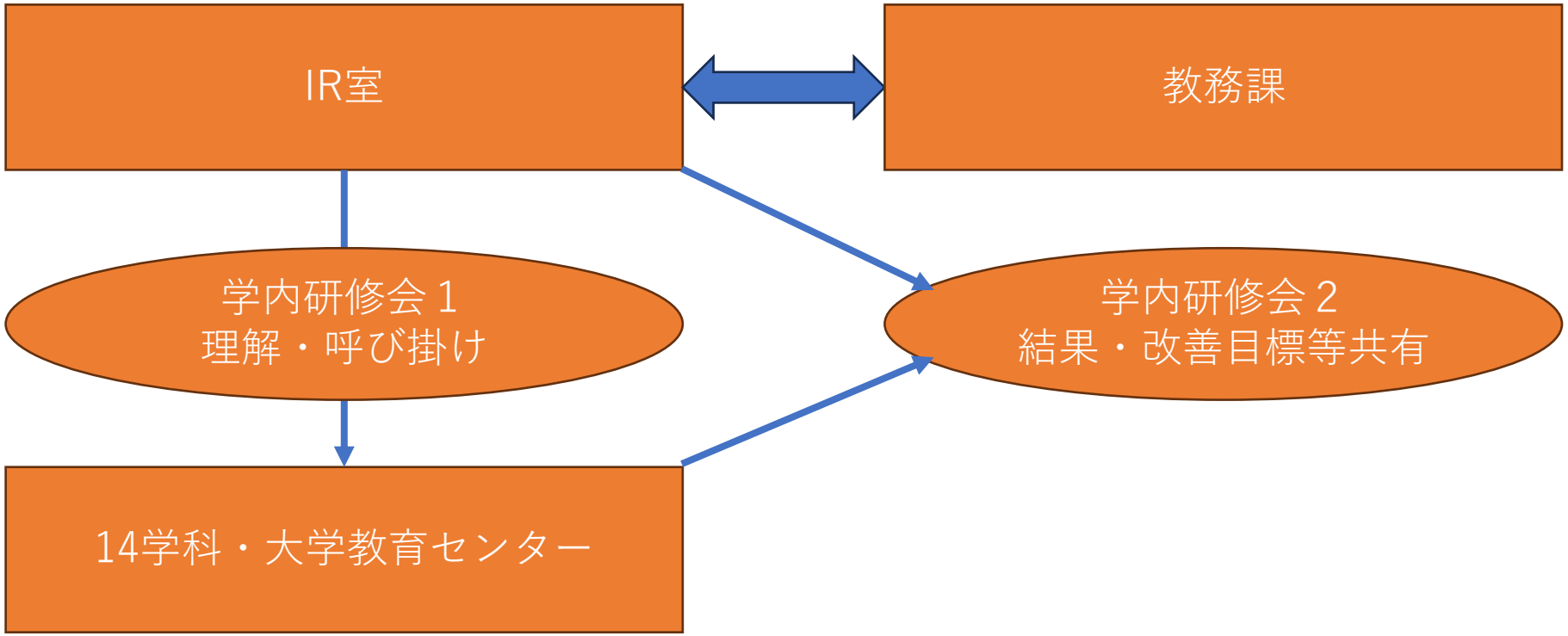
- 成績評価に関する分析（2022年度）

- アセスメント・ポリシー改善のための分析活動（2023年度）
  - 大学教育センターとの連携
- GPAとf-GPAの比較（2023年度）
  - 教務委員会との連携
- 学修成果（GPA）と入試区分等の関連（2023年度）

成績評価に関する分析（2022年度）

- 狙い：各部署のIRへの取組を支援し活性化
- キーワード：授業に関する経験的認識の可視化
  - 成績評価は全学部に共通の関心事項
  - 教員の感じている感覚を可視化して再確認／発見～改善
- 9月研修会
  - IRに取組む意味と取り上げたテーマの主旨を説明
  - データと簡易な分析ツール（IR室 片桐 助教 作成）を配布
    - 令和3（2021）年度に本学で開講された全授業科目の全履修者に対する評価結果（成績）を基本データ（授業科目名、授業担当教員、履修者の氏名、履修者の学年、100点満点での評価点）
- 3月研修会：IR室及び14学科の発表・共有

成績評価に関する分析



教務システムのデータ

在学生成績データ2020.xlsx - Excel

T1 科目必選別名称

	所属コ	所属名	学年	成績連	講義成	学則科	学則科	科目分	科目分	科目分	科目分	学則グ	学則グ	単位数	単位数	科目必	科目必	履修開	講義開	講義開	素点	評点コ	評価名	成績確	成績確	成績確	成績確	証明書	英文証	教員名	教員名	再履修	履修力	履修者	具体的な傾向・特徴
13	220200	人間文化学	4	30	30	120551	市民生活と	1	共通教育科	9	教養教育科目（B群）			2	2	3	選択	2017	3	後期		8	放棄	2017	2	2		市民生活と法		1	鳥	0			
53	220200	人間文化学	4	50	50	2120432	日本王朝文	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	3	選択	2018	2	前期		8	放棄	2018	1	3		日本王朝文学研究１		0	田	0			
54	220200	人間文化学	4	49	49	2120511	東アジアの	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	3	選択	2018	2	前期		8	放棄	2018	1	3		東アジアの歴史と文		0	白	0			
71	220200	人間文化学	4	9	9	120151	憲法	1	共通教育科	9	教養教育科目（B群）			2	2	3	選択	2016	3	後期		8	放棄	2016	2	1		憲法		1	溝	0			
79	220200	人間文化学	4	13	13	130421	人文地理	1	共通教育科	10	教養教育科目（C群）			2	2	3	選択	2016	3	後期		8	放棄	2016	2	1		人文地理（２）		1	湯	0			
97	220200	人間文化学	4	7	7	170541	中国語（I	1	共通教育科	5	共通基礎科目（初修外国語）			1	1	2	選択必修	2016	3	後期		8	放棄	2016	2	1		中国語（II）		1	清	0			
101	220200	人間文化学	4	34	34	2110071	日本文化入	2	専門教育科	15	専門基礎科目			2	2	3	選択	2017	3	後期		8	放棄	2017	2	2		日本文化入門		1	谷	0			
108	220200	人間文化学	4	21	21	2110581	宗教文化史	2	専門教育科	15	専門基礎科目			2	2	3	選択	2016	3	後期		8	放棄	2016	2	1		宗教文化史		1	山	0			
116	220200	人間文化学	4	40	40	2120471	日本の歴史	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	3	選択	2017	2	前期		8	放棄	2017	1	2		日本の歴史と文化１		1	柳	0			
125	220200	人間文化学	4	45	45	2120692	日本近現代	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	3	選択	2017	3	後期		8	放棄	2017	2	2		日本近現代文学研究		1	青	0			
135	220200	人間文化学	4	116	116	2121271	博物館資料	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	3	選択	2019	3	後期		8	放棄	2019	2	3		博物館資料論		0	柴	0			
141	220200	人間文化学	4	80	80	2122041	英語コミュ	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	2	選択必修	2018	2	前期		8	放棄	2018	1	3		英語コミュニケーシ		0	森	1			
150	220200	人間文化学	4	37	37	2123191	色彩論	2	専門教育科	15	専門基礎科目			2	2	3	選択	2017	2	前期		8	放棄	2017	1	2		色彩論		1	安	0			
301	220200	人間文化学	4	72	72	130201	日本史（２	1	共通教育科	10	教養教育科目（C群）			2	2	3	選択	2019	3	後期		8	放棄	2019	2	3		日本史（２）		0	柴	0			
339	220200	人間文化学	4	69	69	2120671	日本の中世	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	3	選択	2019	3	後期		8	放棄	2019	2	3		日本の中世文学２		0	竹	0			
492	220200	人間文化学	4	8	8	110701	自然と人間	1	共通教育科	8	教養教育科目（A群）			2	2	3	選択	2017	2	前期		8	放棄	2017	1	1		自然と人間		1	鶴	0			
495	220200	人間文化学	4	10	10	130201	日本史（２	1	共通教育科	10	教養教育科目（C群）			2	2	3	選択	2017	3	後期		8	放棄	2017	2	1		日本史（２）		1	柴	0			
499	220200	人間文化学	4	12	12	130421	人文地理	1	共通教育科	10	教養教育科目（C群）			2	2	3	選択	2017	3	後期		8	放棄	2017	2	1		人文地理（２）		1	小	0			
500	220200	人間文化学	4	13	13	130651	文学との出	1	共通教育科	10	教養教育科目（C群）			2	2	3	選択	2017	3	後期		8	放棄	2017	2	1		文学との出会い		1	青	0			
502	220200	人間文化学	4	14	14	140731	ジェンダー	1	共通教育科	11	教養教育科目（D群）			2	2	3	選択	2017	3	後期		8	放棄	2017	2	1		ジェンダーの心理学		1	青	0			
505	220200	人間文化学	4	17	17	150621	体育（２）	1	共通教育科	12	教養教育科目（E群）			1	1	3	選択	2017	3	後期		8	放棄	2017	2	1		体育（２）		1	吉	0			
526	220200	人間文化学	4	36	36	2120432	日本王朝文	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	3	選択	2018	2	前期		8	放棄	2018	1	2		日本王朝文学研究１		0	田	0			
527	220200	人間文化学	4	49	49	2120442	日本王朝文	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	3	選択	2018	3	後期		8	放棄	2018	2	2		日本王朝文学研究２		0	田	0			
538	220200	人間文化学	4	76	76	2120671	日本の中世	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	3	選択	2019	3	後期		8	放棄	2019	2	3		日本の中世文学２		0	竹	0			
561	220200	人間文化学	4	22	22	2123191	色彩論	2	専門教育科	15	専門基礎科目			2	2	3	選択	2017	2	前期		8	放棄	2017	1	1		色彩論		1	安	0			
778	220200	人間文化学	4	8	8	112201	暮らしとバ	1	共通教育科	8	教養教育科目（A群）			2	2	3	選択	2017	2	前期		8	放棄	2017	1	1		暮らしとバイオ		1	鶴	0			
780	220200	人間文化学	4	40	40	120351	日本の政治	1	共通教育科	9	教養教育科目（B群）			2	2	3	選択	2018	1	通年		8	放棄	2018	2	2		日本の政治・経済		0	田	0			
1346	220200	人間文化学	4	8	8	110701	自然と人間	1	共通教育科	8	教養教育科目（A群）			2	2	3	選択	2017	2	前期		8	放棄	2017	1	1		自然と人間		1	鶴	0			
1359	220200	人間文化学	4	13	13	130101	日本史（１	1	共通教育科	10	教養教育科目（C群）			2	2	3	選択	2017	2	前期		8	放棄	2017	1	1		日本史（１）		1	柳	0			
1364	220200	人間文化学	4	15	15	130651	文学との出	1	共通教育科	10	教養教育科目（C群）			2	2	3	選択	2017	3	後期		8	放棄	2017	2	1		文学との出会い		1	青	0			
1370	220200	人間文化学	4	18	18	151111	剣道（１）	1	共通教育科	12	教養教育科目（E群）			1	1	3	選択	2017	2	前期		8	放棄	2017	1	1		剣道（１）		1	菅	0			
1760	220200	人間文化学	4	69	69	140731	ジェンダー	1	共通教育科	11	教養教育科目（D群）			2	2	3	選択	2019	2	前期		14	認定	2019	1	3		ジェンダーの心理学		1		0			
1771	220200	人間文化学	4	70	70	170831	海外語学研	1	共通教育科	6	共通基礎科目（海外語学研修）			2	2	3	選択	2019	2	前期		14	認定	2019	1	3		海外語学研修（ブル		1		0			
1777	220200	人間文化学	4	71	71	2110411	海外文化事	2	専門教育科	15	専門基礎科目			2	2	3	選択	2019	2	前期		14	認定	2019	1	3		海外文化事情１		1		0			
1778	220200	人間文化学	4	72	72	2110421	海外文化事	2	専門教育科	15	専門基礎科目			2	2	3	選択	2019	2	前期		14	認定	2019	1	3		海外文化事情２		1		0			
1779	220200	人間文化学	4	73	73	2110431	異文化間コ	2	専門教育科	15	専門基礎科目			2	2	3	選択	2019	2	前期		14	認定	2019	1	3		異文化間コミュニケ		1		0			
1780	220200	人間文化学	4	74	74	2110441	異文化間コ	2	専門教育科	15	専門基礎科目			2	2	3	選択	2019	2	前期		14	認定	2019	1	3		異文化間コミュニケ		1		0			
1791	220200	人間文化学	4	75	75	2120621	基礎演習Ⅱ	2	専門教育科	16	専門科目			2	2	1	必修	2019	2	前期		14	認定	2019	1	3		基礎演習Ⅱ		1		0			

在学生成績データ

準備完了 フィルター モード 53%

分析用に抽出したデータシート

2021年度成績データ（20220224現在）（メディア・映像学科).xlsx - Excel

C14 色彩論

	A	B	C	D	E	F
1	（学則成績）学籍番号	学則科目コー	学則科目名称	履修開始	素点	教員名称
2	3118014	002123191	色彩論	2021	65.00	安田　暁
3	3118039	002123191	色彩論	2021	61.00	安田　暁
4	3119005	002123191	色彩論	2021	79.00	安田　暁
5	3119013	002123191	色彩論	2021	97.00	安田　暁
6	3119017	000121701	社会学	2021	71.00	丸山　友美
7	3119024	002123191	色彩論	2021	86.00	安田　暁
8	3119027	002123191	色彩論	2021	73.00	安田　暁
9	3119031	002123191	色彩論	2021	70.00	安田　暁
10	3119038	002123191	色彩論	2021	90.00	安田　暁
11	3120004	002123191	色彩論	2021	97.00	安田　暁
12	3120010	000121701	社会学	2021	999.00	丸山　友美
13	3120010	000131101	メディア文化論	2021	999.00	丸山　友美
14	3120013	002123191	色彩論	2021	66.00	安田　暁
15	3120013	002210071	情報処理応用	2021	999.00	筒本　和広
16	3120014	002123191	色彩論	2021	999.00	安田　暁
17	3120016	000131101	メディア文化論	2021	999.00	丸山　友美
18	3120016	002210071	情報処理応用	2021	999.00	筒本　和広
19	3120020	000121701	社会学	2021	64.00	丸山　友美
20	3120021	002123191	色彩論	2021	94.00	安田　暁

readme　元データ　集計結果２

準備完了　100%

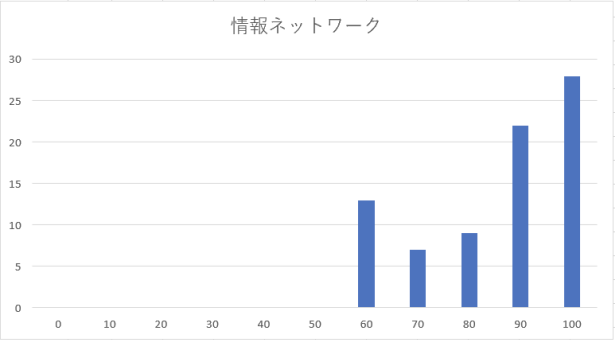
学科に配布した個別確認シート

2021年度成績データ（20220224現在）（メディア･映像学科).xlsx - Excel

O50 教養ゼミ（教養講座を含む）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	科目名	情報ネットワーク									No.	9
2	担当教員名	[redacted]										
3	受講生	88		放棄の学生	9		対象者数	79				
4	平均	82.4										
5	標準偏差	13.2										
6												
7		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
8	情報ネットワーク	0	0	0	0	0	0	13	7	9	22	28

右の表の「No.」を指定すると対象の科目の情報が表示されます。

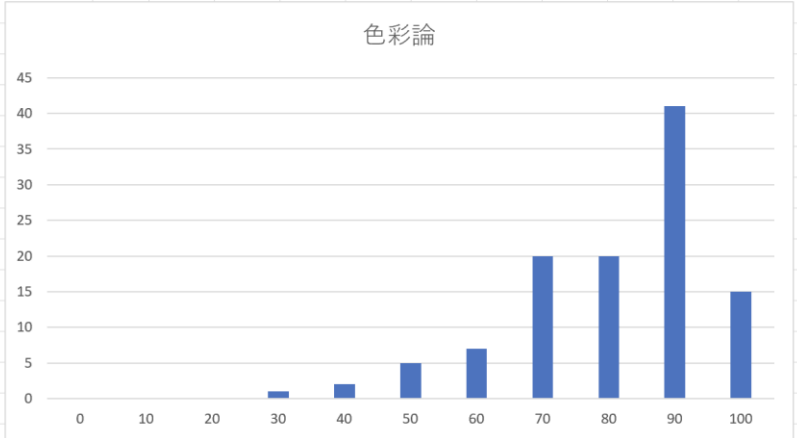


No.	科目名
1	色彩論
2	社会学
3	メディア文化論
4	情報処理応用
5	情報処理基礎
6	写真論
7	情報社会とコミュニケー
8	地域メディア論
9	情報ネットワーク
10	映画論
11	アナウンス
12	映像文化入門
13	情報ネットワーク
14	メディア・リテラシー論
15	マルチメディア論
16	卒業研究
17	専門ゼミ
18	卒業研究
19	卒業研究
20	ＣＧ表現論
21	卒業研究
22	卒業研究
23	卒業研究
24	情報セキュリティ
25	専門英語
26	ＣＧ映像制作
27	サウンドデザイン
28	メディア実践（展示）
29	メディア実践（支援）
30	メディア応用実習
31	メディア発展実習

担当教員	受講生	放棄学生	対象者数	平均	標準偏差	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
安田　暁	116	5	111	76.4144	14.8679	0	0	0	1	2	5	7	20	20	41	15
						0	0	0	0	0	0	13	7	9	22	28
						0	0	0	1	2	5	7	20	20	41	15
						20	30	15	2							
						80	114	6	2							
						13	29	28	58							
						12	30	39	46							
						6	20	16	0							
						1	2	1	4							
						9	7	2	5							
						7	9	22	28							
						2	6	4	30							
						0	8	9	2							
						5	10	13	6							
						10	20	15	18							
						8	8	20	7							
						3	5	13	20							
						0	3	2	1							
						1	5	27	2							
						0	0	3	0							
						0	0	3	3							
						1	3	16	17							
						0	1	2	2							
						0	0	2	4							
						0	2	3	2							
						6	3	12	9							
						6	10	13	1							
						0	1	21	13							
						1	1	7	21							
						3	6	19	3							
						4	20	11	1							
						9	8	14	2							
						5	7	18	1							

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	科目名	色彩論									No.	1
2	担当教員名	[redacted]										
3	受講生	116		放棄の学生	5		対象者数	111				
4	平均	76.4										
5	標準偏差	14.9										
6												
7		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
8	色彩論	0	0	0	1	2	5	7	20	20	41	15

右の表の「No.」を指定すると対象の科目の情報が表示されます。

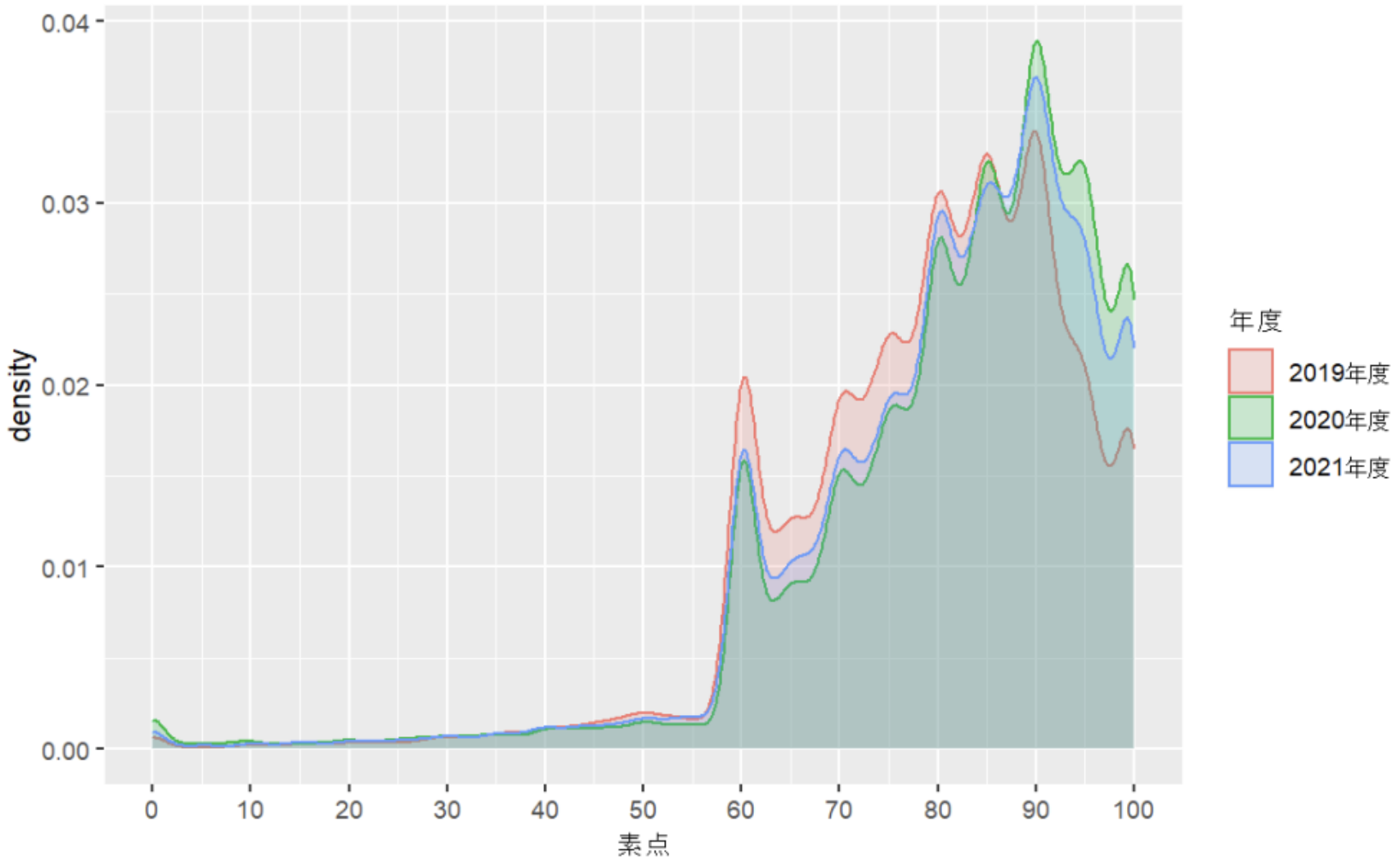


readme | 元データ | 集計結果２

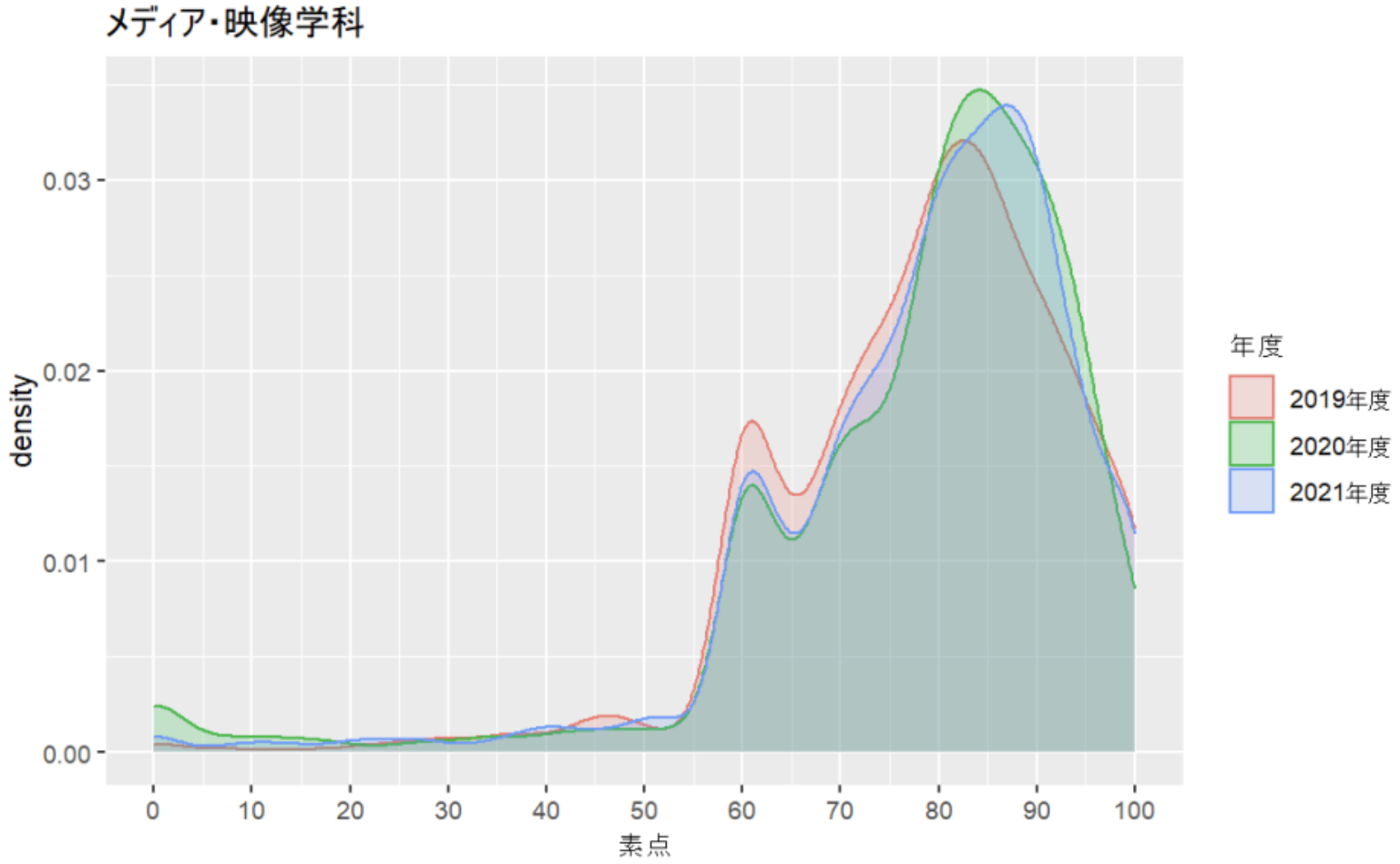
準備完了

成績評価に関する分析（2022年度）

授業方法の適切性の検討	1	アクティブ・ラーニングは教育成果を高めるために適切な授業方法である。
教育内容の適切性の検証	2	成績の分布は学科の意図に合致している。
	3	平均点の高い授業科目は学科の科目を開設する意図に合致している。
成績評価の適切性の検討	4	平均点が低い授業科目には成績の分布に特徴がある。
成績評価と授業評価の関連性	5	平均点が高い授業科目は、授業評価の点数が高い。
	6	標準偏差の大きい授業科目は、授業評価の点数が低い。
共通教育と専門教育の関連	7	共通教育科目と専門教育科目の間に成績の相関はない。
	8	共通教育科目の成績評価基準は適切に設定されている。
遠隔授業の成績評価の点検	9	遠隔授業と通常の対面授業の評価を比較すると、遠隔授業の評価が高くなる。
学部・学科の成績評価の特徴	10	学部・学科間に成績評価基準の高低差はない。
	11	学部・学科間に授業科目成績の標準偏差に差はない。
	12	各学科の成績評価の特徴は学科カリキュラム内授業科目の平均点に表れている。
	13	必修科目は選択科目より成績評価基準が低い傾向がある。

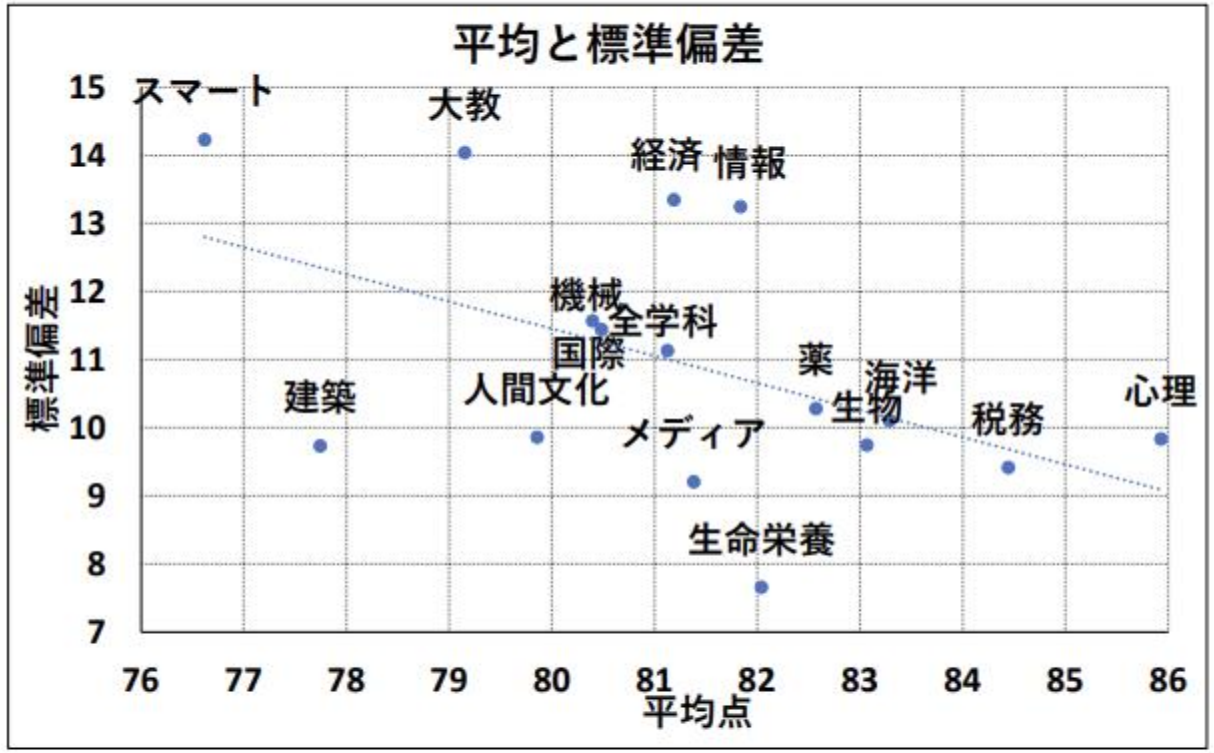


年度	N（科目数）	平均	標準偏差
2019 年度	67321	79.34	14.47
2020 年度	65717	81.61	15.63
2021 年度	63376	81.01	15.09



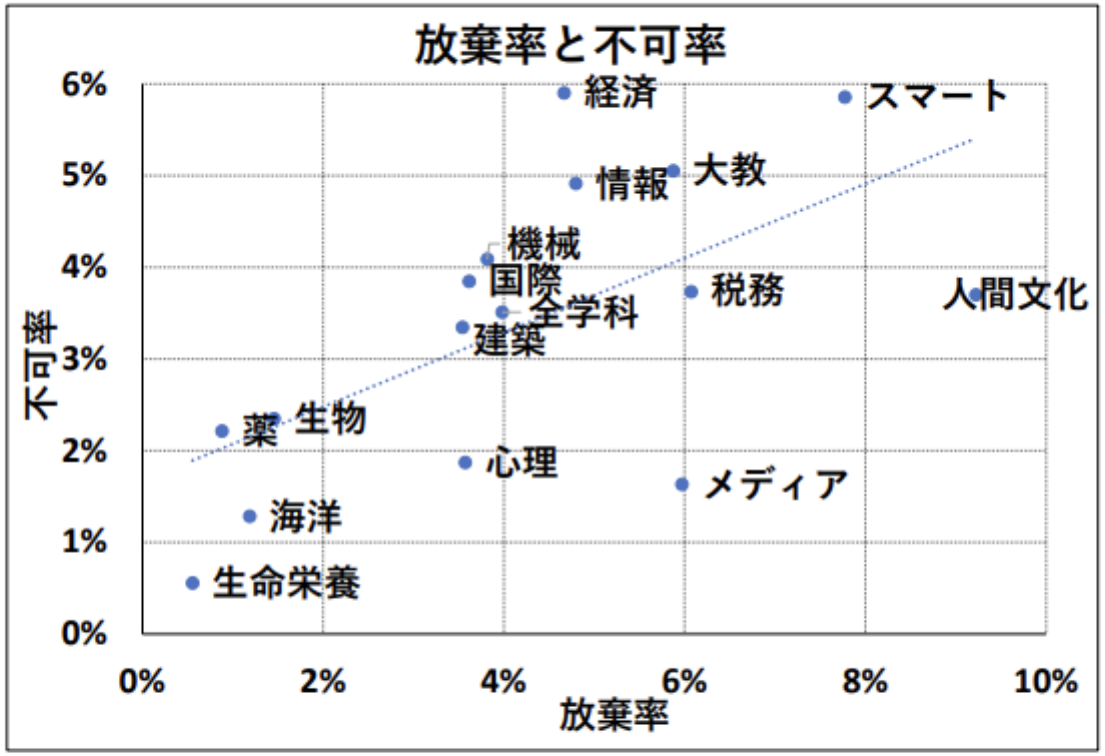
年度	N	平均	標準偏差
2019 年度	2135	78.41	14.59
2020 年度	2260	77.95	17.83
2021 年度	2356	78.9	15.46

平均点と標準偏差の学科間比較



- 学科間で平均点を比較すると、最大で9.3点の差、標準偏差は最大で約1.84倍の差があった。
- ただ、学生数が少ない学科では、一部の学生の外れ値となる成績が学科全体の平均や標準偏差に強い影響を与えている可能性がある。

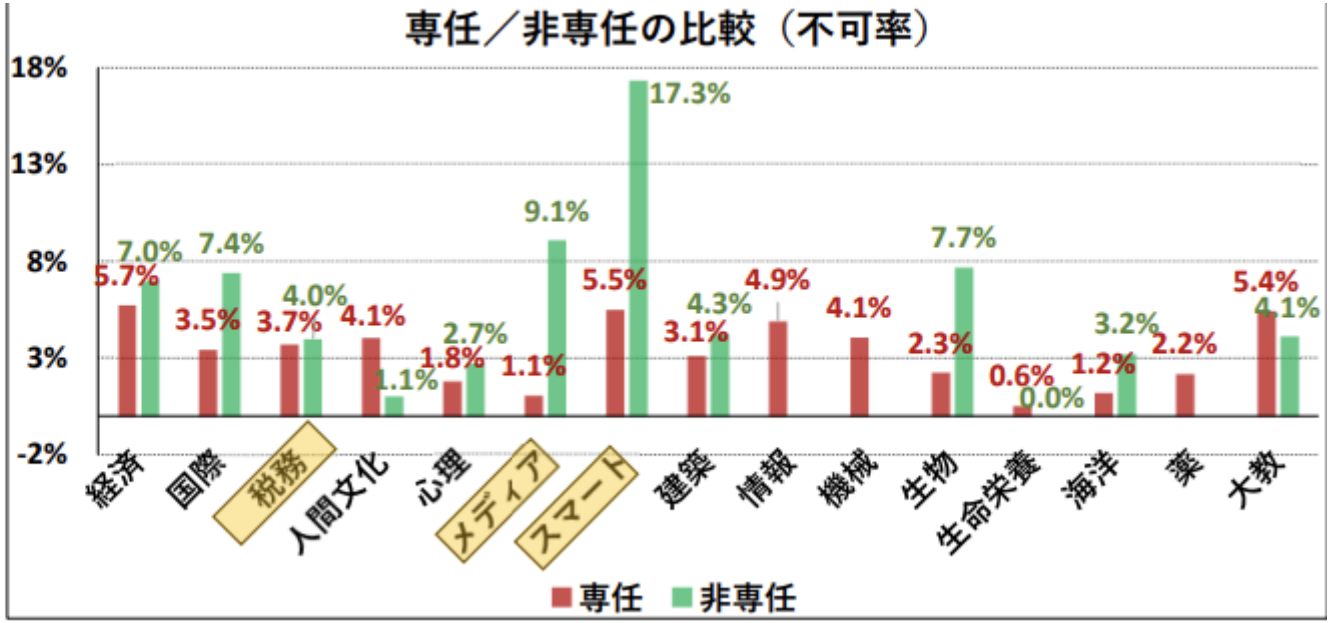
「不可率」と「放棄率」の学科間比較

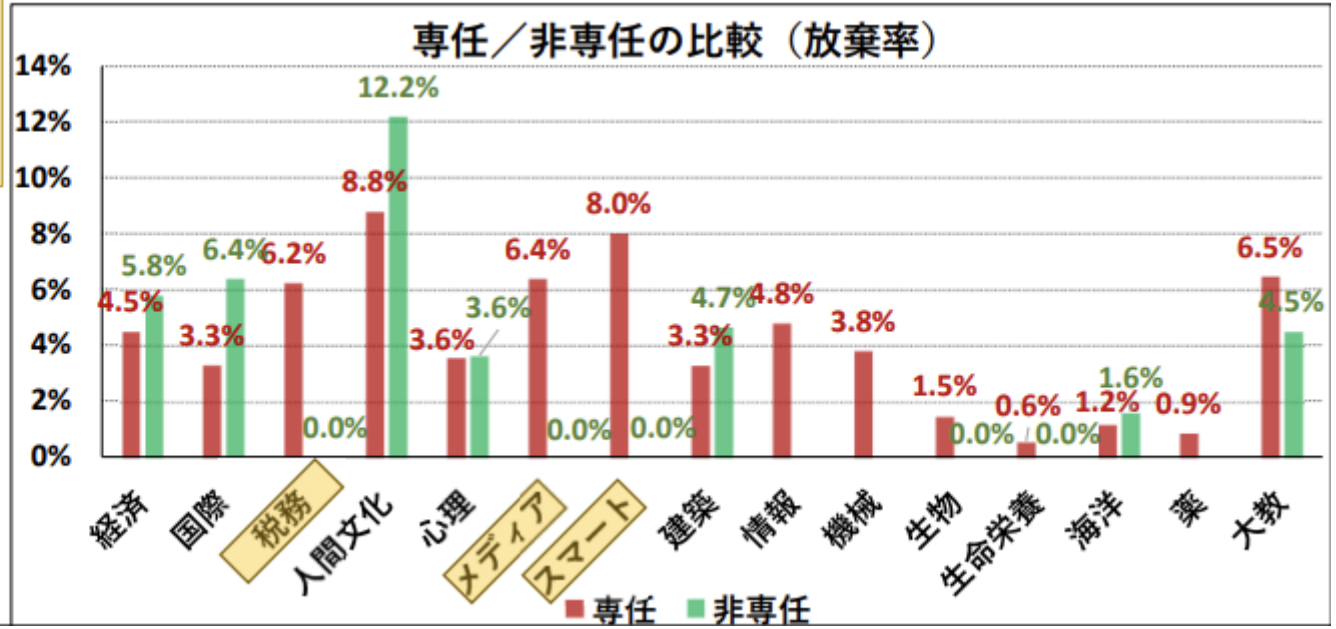


- 不可率や放棄率には学科間で大きなバラつきがある。
- 統一されたルールに基づいてつけられる「放棄」の割合が学科間でこれほど大きく異なる理由は何か？
- 欠席学生や成績不良学生への学修指導の違いが、学科間の放棄率・不可率のバラツキを生んでいる？

専任と比較して、非専任の不可率が高いが放棄率は０％の学科

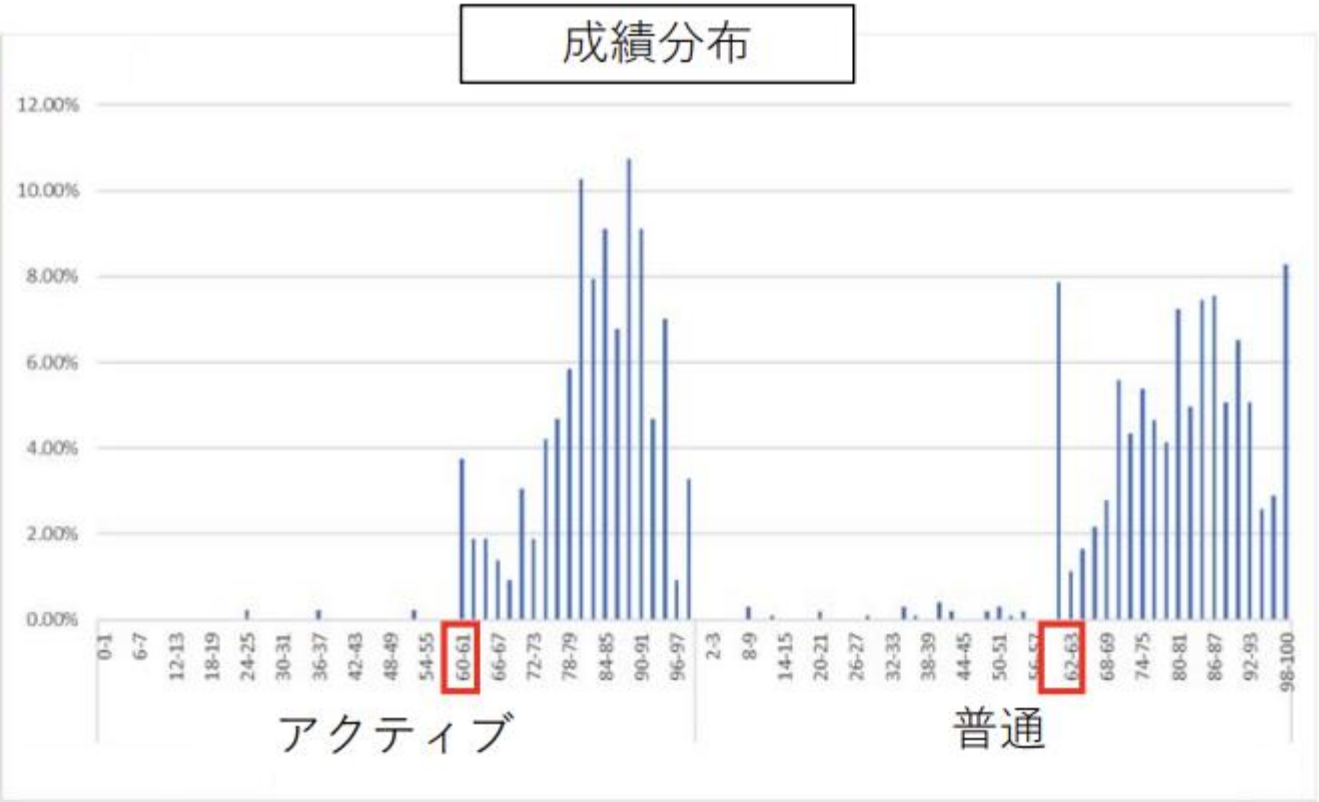
- 税務
- メディア
- スマート



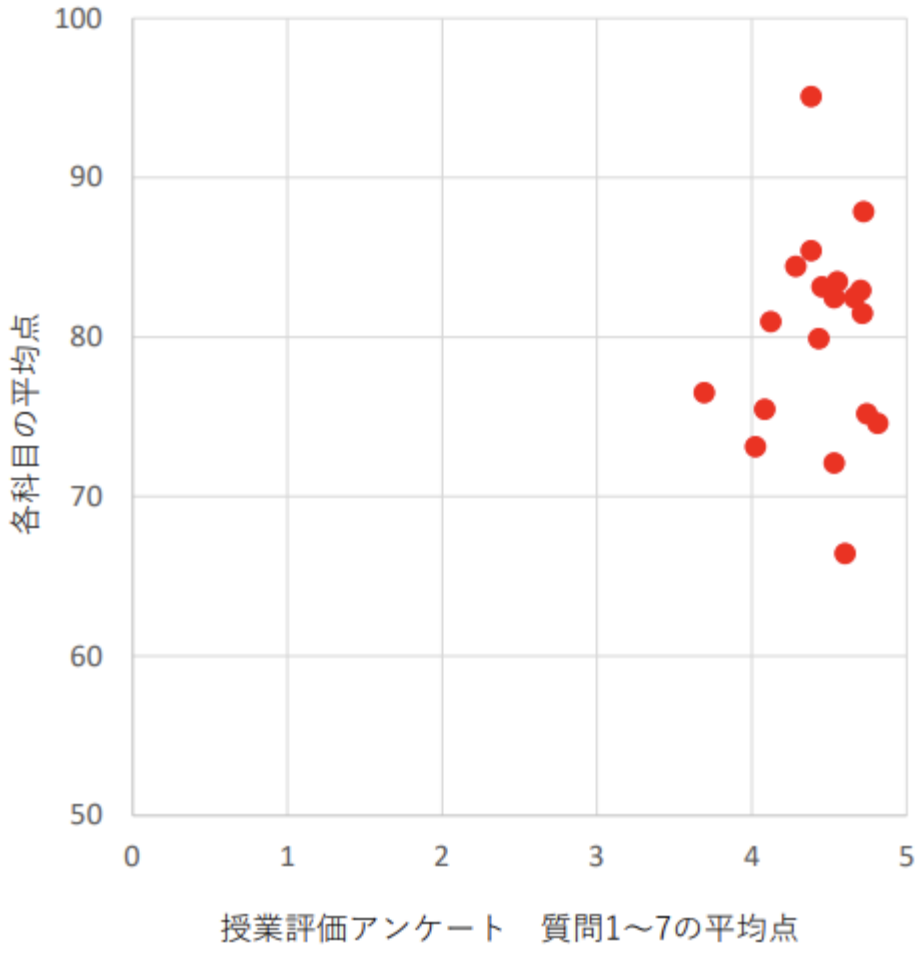


①アクティブ・ラーニングは教育成果を高めるために適切な授業方法である。

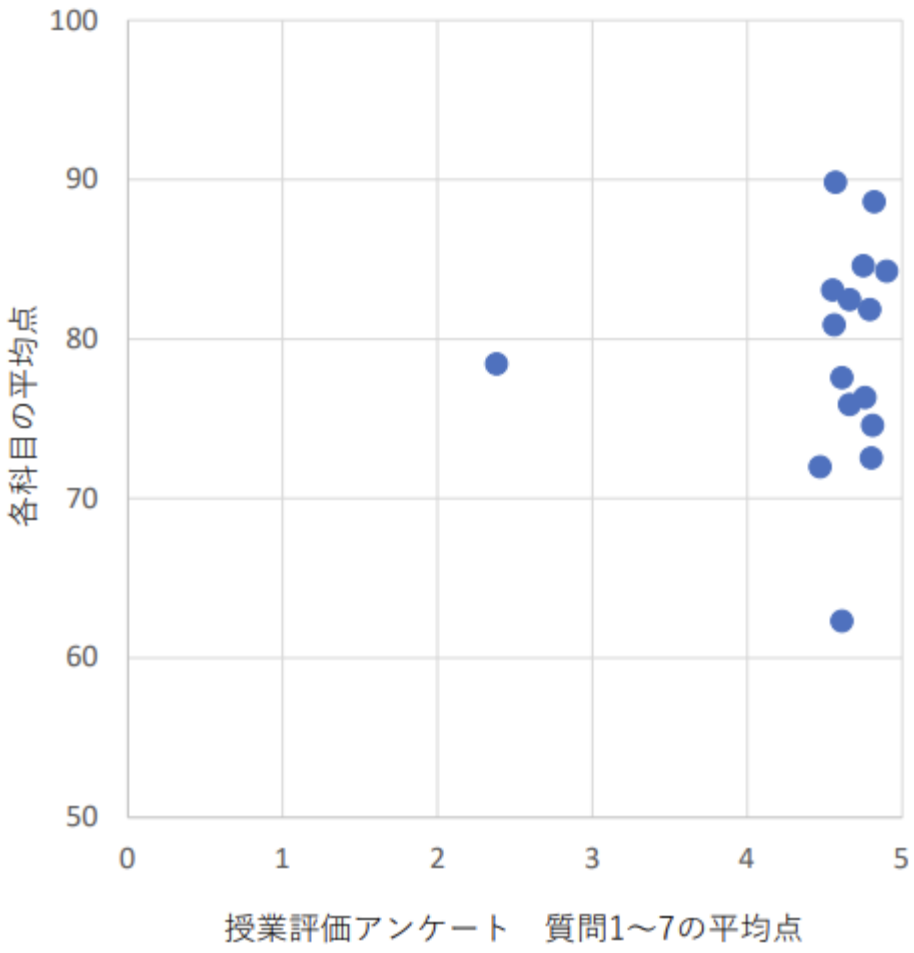
	平均	標準偏差
アクティブ	82.46	10.06
普通	80.02	13.43



【検証】⑤平均点が高い授業科目は、授業評価の点数が高い？



【講義科目】



【実験実習演習科目】

各科目の平均点と授業評価アンケート結果との関係

1年間だけのデータでは評価しづらい。

新型コロナの影響でリモート対応した年の成績なので、対面の期末試験をした年の成績とは違うのではないか。

今回評価した成績は、個人の能力を反映した結果とは限らない。

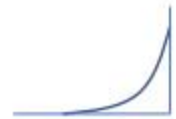
数式を使わない科目の成績分布は正規分布に近くなる傾向がある。

成績分布が正規分布に近くなっている科目が多い教員の講義

選択科目で学生の意識が高い。

実習、グループ演習等をやらせて知識の定着を図っている。

教え方で成績の分布は調整できるのではないか。



むしろ理想とする成績分布になるように講義を設計するべきではないか。

ディプロマポリシー的には、成績分布は正規分布よりも片山が理想ではないかという意見もあった。

選択科目は正規分布や片山等いろいろな成績分布になるように設計してもよいのではないか。

必修科目は学生の能力を底上げをするのが目的なので、どうしても平均点が低くくなる。

成績分布に山が2つできたりするのは丁寧に教えた結果なので悪いことではない。

成績評価に関する分析（2022年度）

- 各部署のIRへの取組は活性化
  - 分析の主旨に各学科が賛同
    - 授業に関する経験的認識の可視化
    - 共通の関心事項
- 感覚を可視化～学科で再確認／発見～議論・改善
- 2023年度も成績データを配布予定（希望する学科を対象）
- 新ゼルコバでは成績データの取得が容易に

福山大学におけるIR活動の成果
の紹介

- 成績評価に関する分析（2022年度）
- アセスメント・ポリシー改善のための分析活動（2023年度）
  - 大学教育センターとの連携
- GPAとf-GPAの比較（2023年度）
  - 教務委員会との連携
- 学修成果（GPA）と入試区分等の関連（2023年度）

アセスメント・ポリシー（2023年度）

現在のアセスメント表(各学科の中項目の修得度評価：１-白、2-緑、3-黄、4-赤）

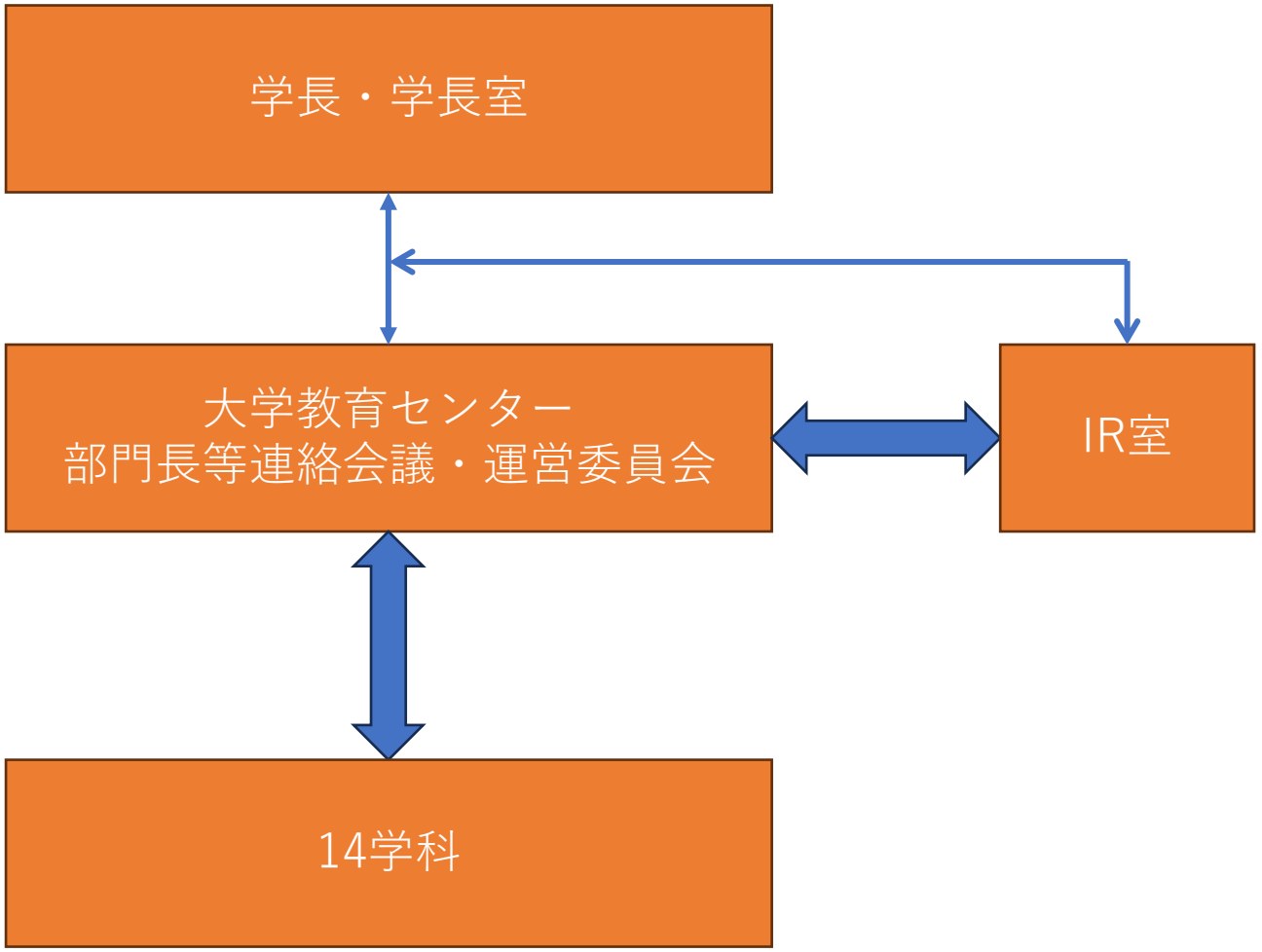
Threshold	2.5																							
中項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
経済	3	3	3	3																					
国際経済	4	4	3	4	4	4	4																		
税務会計	4	4	4	4	4	4	4																		
スマートシステム	1	1	1	1	1	1	1	1																	
機械システム	3	3	3	3	2	3	3																		
建築	3	3	3	2	3	2	2	3	2																
情報	4	4	4	3	4	4	4	3																	
メディア映像	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	4	3	3	3	3										
心理	4	4	4	4	4	4	4	1																	
人間文化	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3															
海洋	4	4	4	4	4	4	4	4																	
生物工	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4														
生命栄養	4	3	2	3	3	4	2	4	4	4	4	3	4	#DIV/0!											
軍	4	3	3	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	2	3	4	3	3

・中項目の評価が全て”４”の学科が複数。

・中項目の評価が全て”3”の学科がある。（全て”1”の学科もある）

○教育プログラムの中項目ごとの評価の差（達成度の高低差）が無い。そのため、改善のための見直しポイントの特定は難しい。

アセスメント・ポリシー検討に関する連携



修得度←Σ関連科目の成績X重み(中項目との関連度)

	A	B	C	G	H	I	J	K	L
1									
2	2022	年	年度						
3	人間文化	メディア・映像		中項目4	中項目5	中項目6	中項目7	中項目8	中項目
4	資質成績の取得			言語表現力	情報活用力	情報社会についての理解	社会に対する洞察	情報活用の実践力	多様な手法
5			到達度4	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以合、75%以上
6			到達度3	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以合、50%以上未満
7			到達度2	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以合、25%以上未満
8			到達度1	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以合、25%未満
9				中項目4	中項目5	中項目6	中項目7	中項目8	中項目9
10	Threshold	2.5	2.5以上の数	22	23	24	24	26	
11			学生数	31	31	31	31	31	
12			2.5以上の割合(%)	70.96774194	74.19354839	77.41935484	77.41935484	83.87096774	67.741
13			到達度	3	3	4	4	4	
14				中項目4	中項目5	中項目6	中項目7	中項目8	中項目9

達成度　←　修得度がThreshold以上の学生数の割合

	A	B	C	G	H	I	J	K	L
1									
2	2022	年	年度						
3	人間文化	メディア・映像		中項目4	中項目5	中項目6	中項目7	中項目8	中項目
4	資質成績の取得			言語表現力	情報活用力	情報社会についての理解	社会に対する洞察	情報活用の実践力	多様な手法
5			到達度4	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以上の割合、75%以上	修得度2.5以合、75%以上
6			到達度3	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以上の割合、50%以上、75%未満	修得度2.5以合、50%以上未満
7			到達度2	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以上の割合、25%以上、50%未満	修得度2.5以合、25%以上未満
8			到達度1	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以上の割合、25%未満	修得度2.5以合、25%未満
9				中項目4	中項目5	中項目6	中項目7	中項目8	中項目9
10	Threshold	2.5	2.5以上の数	22	23	24	24	26	
11			学生数	31	31	31	31	31	
12			2.5以上の割合(%)	70.96774194	74.19354839	77.41935484	77.41935484	83.87096774	67.741
13			到達度	3	3	4	4	4	
14				中項目4	中項目5	中項目6	中項目7	中項目8	中項目9

Threshold: 2.5

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
1	Threshold	2.5																								
2	中項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
3	経済	3	3	3	3																					
4	国際経済	4	4	3	4	4	4	4																		
5	税務会計	4	4	4	4	4	4	4																		
6	スマートシステム	1	1	1	1	1	1	1	1																	
7	機械システム	3	3	3	3	2	3	3																		
8	建築	3	3	3	2	3	2	2	3	2																
9	情報	4	4	4	3	4	4	4	3																	
10	メディア映像	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	4	3	3	3	3										
11	心理	4	4	4	4	4	4	4	1																	
12	人間文化	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3															
13	海洋	4	4	4	4	4	4	4	4																	
14	生物工	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4														
15	生命栄養	4	3	2	3	3	4	2	4	4	4	4	3	4	#DIV/0!											
16	薬	4	3	3	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	2	3	4	3	3
17																										

Threshold: 2.8

	Threshold	2.8																								
	中項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	経済	2	3	3	3																					
	国際経済	3	3	3	3	3	3	3																		
	税務会計	3	3	3	3	3	4	3																		
	スマートシステム	1	1	1	1	1	1	1	1																	
	機械システム	2	2	2	2	2	2	2																		
	建築	3	2	2	2	2	2	2	2	2																
	情報	3	3	3	3	4	4	4	2																	
	メディア映像	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3										
	心理	3	4	4	4	4	4	4	1																	
	人間文化	2	3	2	2	2	2	3	3	3	3															
	海洋	3	3	3	4	4	4	4	4																	
	生物工	3	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3														
	生命栄養	4	2	2	3	2	3	2	3	3	3	3	3	3	#DIV/0!											
	薬	3	1	1	3	4	4	4	3	4	3	4	3	4	4	4	4	3	4	4	3	2	3	4	3	3

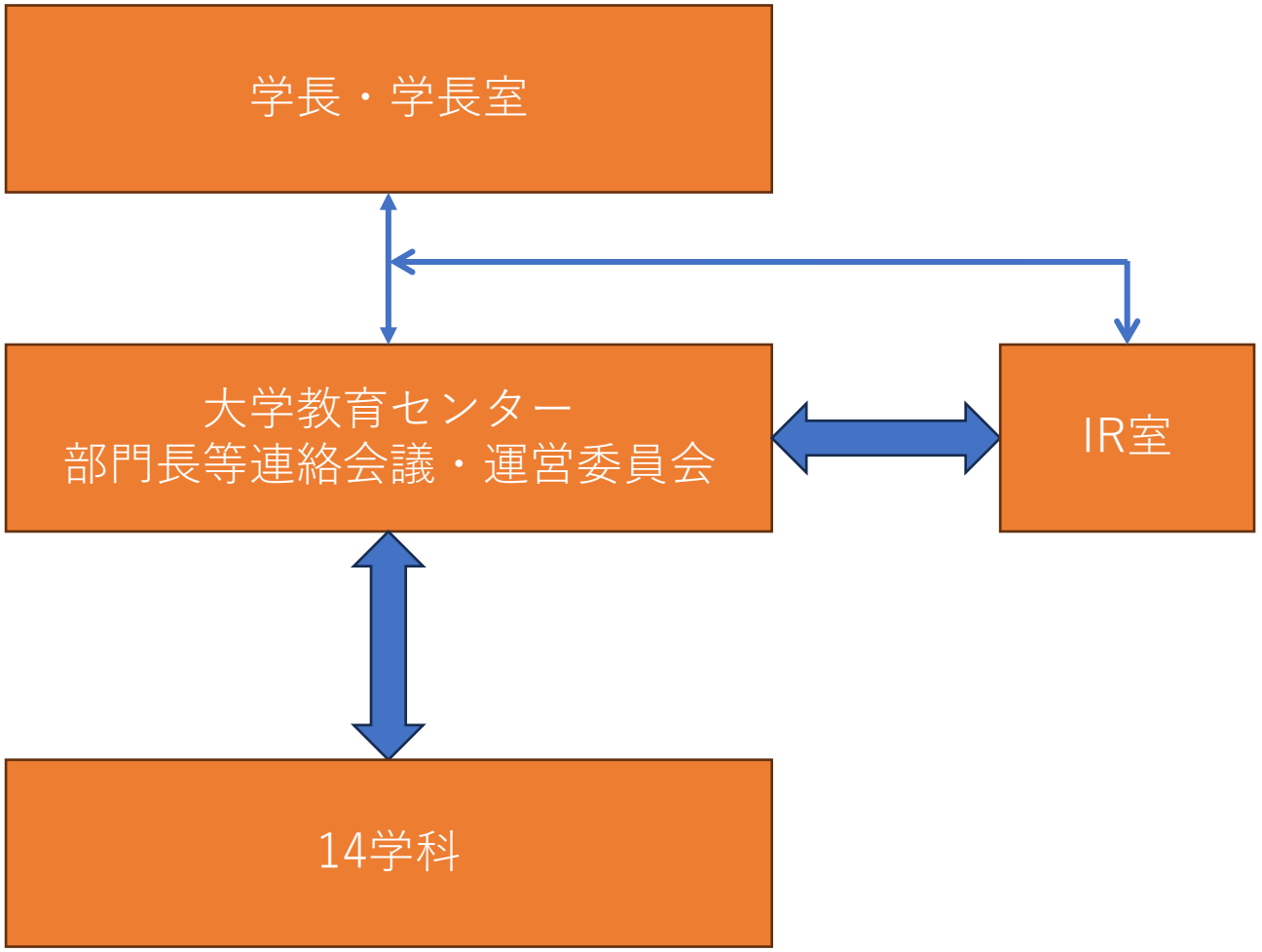
Threshold: 2.5

Threshold	2.5																							
中項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
経済	6	7	7	7																				
国際経済	7	7	7	7	7	9	7																	
税務会計	8	8	8	8	8	8	8																	
スマートシステム	1	1	1	1	1	1	1	1																
機械システム	5	5	5	5	4	6	5																	
建築	7	5	5	4	5	4	4	5	3															
情報	7	8	8	7	8	8	8	6																
メディア映像	7	7	7	7	7	7	7	8	6	6	8	6	6	7	7									
心理	8	8	8	8	8	8	8	1																
人間文化	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6														
海洋	8	8	8	9	9	9	9	8																
生物工	8	9	8	9	8	9	9	8	9	9	9													
生命栄養	9	5	4	6	5	9	3	7	8	8	8	6	7	#DIV/0!										
薬	8	5	5	7	9	9	10	6	9	7	8	7	8	8	8	8	5	9	9	6	4	7	9	7

達成度を10段階

10	100%
9	100-90%
8	90-80%
7	80-70%
6	70-60%
5	60-50%
4	50-40%
3	40-30%
2	30-20%
1	20%未満

アセスメント・ポリシー検討に関する連携



まとめ：IR室の活動はアセスメント・ポリシーの改善に寄与

- アセスメント・ポリシー改善のための分析活動（2023年度）
  - 大学教育センターとの連携
- GPAとf-GPAの比較（2023年度）
  - 教務委員会との連携
- 学修成果と入試区分等の関連（2023年度）
  - 可視化した情報を共有（全学教員、学長室）